

自家配合の飼料で、安全・おいしい豚を育て、全国へ。

●愛情を注ぎ、じっくり育てる

渥美半島の温暖な気候のなかで育てられた豚を「田原ポーク」として全国各地に出荷しているG・ファーム。代表の鈴木美仁さんは、父親が築いてきた農場と果たせなかった夢を引き継ぎ、多くの人に親しまれる養豚農家をめざし、地道に取り組んできました。「じっくり飼うことによって味わいかわる。豚肉本来の旨みが出てくる」と鈴木さん。G・ファームの豚は、清潔で快適な環境のなかストレスなく、農場の人たちに愛情を注がれ大切に育てられています。

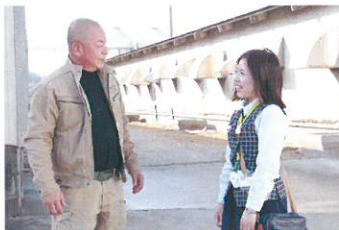
鈴木美仁さん▶



●やわらかく旨い「田原ポーク」

安全でおいしい豚を育てるために、麦類、イモ類、米などを混ぜた自家配合の飼料を餌にしています。麦類には、製造ロスとなったパンや麺類などを使用。その結果、環境によいばかりか、うまみの素であるオレイン酸を豊富に含んだ美味しい肉をつくることに成功しました。「オレイン酸の多い豚肉は、口どけよく旨いが、その分加工しにくい」と評価されている。その評価を変えていきたいと鈴木さん。「田原ポーク」への熱い想いが伝わってきました。

(田原センター 本田愛奈)



▲ 豚舎前で



G・ファーム ●田原市田原町二ノ丸4-1 ●0531-22-1129 ●http://taharapork.jp

編集後記

田原市役所の企画課は、さまざまなイベントを通して田原市を「住み続けたいまちにしよう」という熱い気持ちを感じられました。まだあまり知られていない活動も含め、子どもから高齢者まで楽しめるイベントが沢山ありますので、参加

してみたいですね。

G・ファームの鈴木さんからはお肉へのこだわりと、愛情を注いで育てていることが笑顔から伝わってきました。口どけがととも良くて、おいしい田原ポークをぜひ一度食べてみてください。

東三河ヤクルト販売株式会社

豊橋市花中町54番地
TEL.0532-31-8960

【営業時間】月～金9:00～17:00、土9:00～16:00(日・祝日は定休)

※各センターが留守電の際は、東三河ヤクルト販売本社に転送され、ご用件を承ります。

- 花中センター
豊橋市花中町54番地 0532-32-0301
- 豊橋東センター
豊橋市西小鷹野4丁目8-12 0532-62-3374
- 弥生センター
豊橋市弥生町中原16-2 0532-46-5379
- 二川宿センター
豊橋市大岩町東郷内232 0532-41-2628
- 田原センター
田原市神戸字新大坪18 0531-23-1860

- 小坂井センター
豊川市伊奈町佐脇原500-252 0533-72-6321
- 豊川みなみセンター
豊川市堺町2丁目27 0533-84-0744
- 稲荷センター
豊川市豊栄町7-1 0533-85-0816
- 新城センター
新城市片山538-9 0536-22-2611

